

# 僕たちが見たネパール

## ～ワークキャンプで井戸を作った村が被災地に～



2015年2月に枚方地区会から寄贈の水道式井戸（貯水タンク水道型水場）建設作業に携わってもらいました。



井戸の作られたシンドゥルパルチョーク郡ボテシパ村は4月のネパール大地震で大きな被害を受け、現在村人の多くはテント暮らしをしています。井戸からの水が使えることをとても喜ばれています。

日時：2015年 **7** 月 **5** 日（日）

14：00～16：00

会場：枚方市津田生涯学習市民センター3F  
料理室（※裏面に地図有）

参加費：500円（茶菓代・ネパールへの支援金）

定員：25名

当日、支援活動の話もあります

**ネパール支援募金  
受付中！**

お話し：ボランティアサークル「Salus Aqua（サルーサアクア）」の皆さん

関西学院大学の学生が中心になって結成された水にフォーカスを当てたボランティアサークル「Salus Aqua（サルーサアクア）」。初の海外ワークキャンプで訪れたネパールでの滞在期間の生活や実際のワークの感想、そして行く前と帰国してからの変化を、実際にワークに参加されたメンバーの皆さんに話していただきます。多数のご参加をお待ちしています。

### 【申し込み・お問い合わせ】

準備の都合上7月3日（金）までに電話またはFAXで、下記あて申し込みお願いいたします。

（公社）アジア協会アジア友の会枚方地区会

TEL & FAX 072-861-6273（天野）



（公社）アジア協会アジア友の会

〒550-0002

大阪市西区江戸堀 1-2-14

肥後橋官報ビル5F

Tel 06-6444-0587 Fax 06-6444-0581

Eメール asia@jafs.or.jp（担当：熱田）

ホームページ <http://www.jafs.or.jp>

# 公益社団法人 アジア協会アジア友の会 (JAFS)

渴くアジアと世界に水き！



アジアと世界に井戸を贈る運動

水、それは生きていく上で欠かせないもの。アジアの多くの地域では、その水が手に入らなかったり清潔でなかったりして生命が脅かされる人々の生活があります。アジアの村の大部分を占める貧困層の人々は、いまだに飲料水を含む生活用水を不衛生な川や池の水に頼っているのです。

毎日の水汲みは、女性や子どもたちの仕事です。大きな水がめをかかえながら、時には数キロもの距離を一日に何度も往復します。一日のほとんどの時間が水汲みにとられ、教育を受ける時間すらないのが現状です。

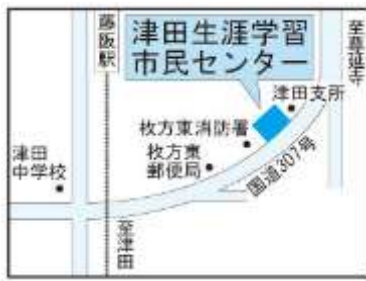
今、わたしたちにできることは？ 安全な水(井戸)を贈ることで、水が原因の病気は減り、女性や子どもたちは水汲みの重労働から解放されます。そして、水汲みしか見えなかった人たちに明るい未来を贈ることができるようになります。

アジア協会アジア友の会(JAFS)は、飲料水の欠乏が深刻なアジアに安全な水(井戸)を贈る運動として1979年に活動を始めた国際民間協力団体(NGO)です。

現在、アジア 18ヶ国 68ヶ所の現地提携団体と協力し、安全な水(井戸)の供給をはじめ、植林、教育などを通してアジアの村の自立を支援しています。

現在までの協力実績 (2015. 3. 31 現在)	
井戸建設	1,782 基
学校	106 校舎
里子	967 人
植林	約 248 万本
簡易トイレ	2,377 基
その他、保健衛生・生活自立支援・緊急災害支援等を行う	

## 第9回 JAFS 枚方ティーサロン参加申込書



お名前	
ご住所	〒
電話	
E-mail	

※ご記入いただいた個人情報は本イベントのためにのみ利用します。



FAX : 072-861-6273 (天野)